

# いちようだより

平成31年1月10日  
天童中部小学校  
校長 大谷敦司

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

(回収率 92%)

1月にご回答いただいた学校評価アンケートには、たくさんの保護者の皆様からご協力いただき、ありがとうございました。結果を集計し考察いたしましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって、『自分たちで考えてくらしを創っていく子ども』の育成を目指した教育活動を推進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

## I 児童アンケートの結果から

No.	項目	あてはまる	あてはまる とどちらか はえらば	あてはまる とどちらか はえらば	あてはまる とどちらか はえらば	天童中部小学校 児童アンケート 全体 集計
1	学校の生活は毎日楽しい。	58%	32%	7%	3%	58% 32% 7% 3%
2	授業で勉強していることがよくわかる。	49%	42%	7%	2%	49% 42% 7% 2%
3	みんなに進んであいさつしている。	59%	29%	9%	3%	59% 29% 9% 3%
4	児童会目標を意識して活動している。	49%	36%	12%	3%	49% 36% 12% 3%

### 1 学校生活について

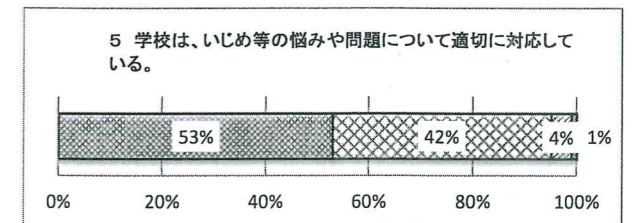
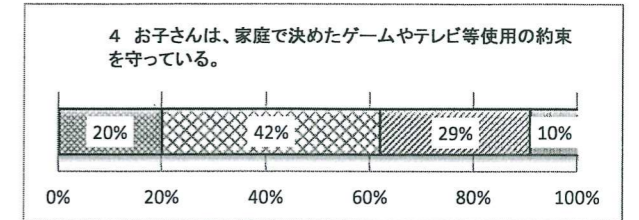
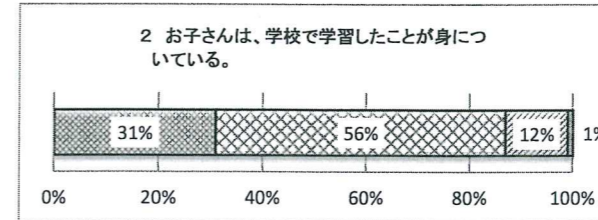
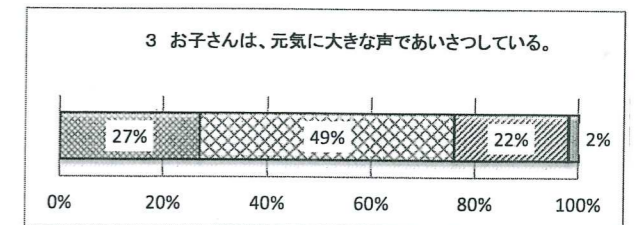
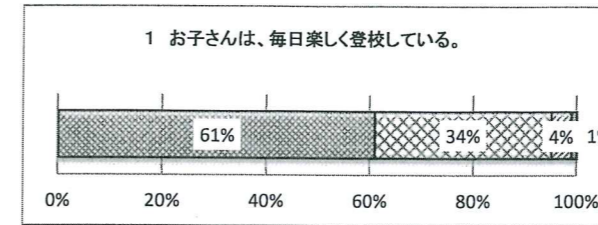
- [項目1] 90% (4の段階…58%、3の段階…32%) の子どもたちが「学校が毎日楽しい」と答えており、昨年度とほぼ同じ結果でした。多くの子どもたちが学校で楽しく生活しているということですが、反対に見ると、約1割の子どもたちが「楽しくない」と思っているということで、この子どもたちも満足した学校生活を送れるよう、さらにきめの細かい支援をしていきたいと思ひます。
- [項目3] あいさつについては、「あてはまる (4の段階)」が59%、「どちらかといえばあてはまる (3の段階)」が29%で、88%の子どもたちが「進んであいさつしている」と答えています。全校朝会時に相手に伝わるあいさつについて話をしたり、あいさつ委員会が毎朝登校時にあいさつしたりしてきたことで、あいさつへの意識が高くなってきたと思ひれます。さらに子どもたち全員が進んで気持ちよいあいさつができるよう、今後も継続して指導にあたっていきたいと思ひます。
- [項目4] 児童会目標については、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答えた子どもが85%。学年で見ると、6年生が93%で、自分たちが先頭に立って児童会を引っ張っていこうという意識が感じられました。計画委員会が中心となって、どうすれば児童会目標「みんな友だち 明るい笑顔」を達成できるかを話し合いながら「みんな笑顔ボックス」や「あいさつがんばり月間」などに取り組んでいるので、児童会全体で盛り上げていくことができるよう声掛けをしていきたいと思ひます。

### 2 学習について

- [項目2] 「勉強がよくわかる」と答えた子どもが91%で、昨年度とほぼ同じ結果となっています。9割以上の子どもたちが「勉強がわかる」と答えているのはうれしいことですが、数値的にはさらに上を目指していきたいと考えています。そのために、日々教材研究を十分に行いながら授業改善をさらに進めていくとともに、個別指導やT T指導など個に応じた支援を充実していく中で、一人一人が「勉強がわかる」ように努めていきたいと思ひます。

## II 保護者アンケート結果から

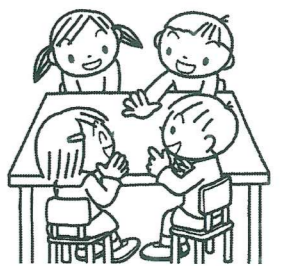
■ =あてはまる □ =ややあてはまる ▨ =あまりあてはまらない ■ =あてはまらない



- [項目1、5] 95%の保護者の方から、お子さんが「毎日楽しく登校している」とご回答いただきました。また、「いじめ等に適切に対応している」についても、95%の方から「対応している」と捉えていただいているようです。面談等を通して一人一人に向き合いながら子どもたちのくらしを見取って対応していることを評価していただいたものと受け止めています。さらに、個別の支援や居心地のよい学級づくりを推進していくことで、子どもたちが毎日安心して登校し、元気に楽しく生活できるように支援していきたいと思ひます。
- [項目2] 87%の保護者の方から「学校で学んだことが身についている」とご回答いただきました。しかし、「ややあてはまる (3の段階)」が56%で、半数以上の保護者の方が「もっと伸ばしてほしい」と思っているようです。日々の授業での個への支援を含めた授業改善を通して、さらに一人一人に確かな学力が身につくよう力を入れて指導していきたいと思ひます。

### <伸びた点>

「健康や安全に自分で気をつけるようになってきた」「自分から学習に取り組むようになってきた」については、昨年度とほぼ同数の保護者の方から「あてはまる」とご回答いただきました。しかし、「相手のことやまわりのことを考えて生活するようになってきた」については、「あてはまる」が375人と半数を超えていますが、昨年度より約50人の減少という結果になりました。



### <意識して努めた点・協力しながら努力していきたい点>

「生活リズムづくりやメディアコントロールなどへの取り組み」については、昨年同様「あてはまる」という保護者の方が約3分の1という結果でした。子どもがさらに成長していくために、約半数の保護者の方から学校と協力しながら努力していきたいとお答えいただきました。

昨年度もメディア関係が家庭生活の課題の一つとなっていることを指摘させていただきましたが、今年度も同じような結果となっています。もちろん全員ではありませんが、約束を守れず、ゲームをしたりユーチューブを見たりする時間が多くなって、生活リズムが崩れたり自分から宿題等の家庭学習に取り組めなくなったりしている状況が見られます。そうした状況を改善するために、学校と家庭が連携しながら、PTA活動等でさらにメディアコントロールについて重点的に取り組んでいきたいと思ひます。